一般社団法人　あいおらいと　令和８年１１月３０日

一時保護施設のルールなどの点検表について

― こどもの権利・安全・必要性の視点から考える ―

1　点検表の作成の目的

これまで一時保護施設の第三者評価を通じて施設のルールの中には、「本当に必要なのか」「こどもの権利や自由を必要以上に制限していないか」と感じるものもありました。

一時保護施設では、集団生活の安全や秩序を保つために一定のルールが必要です。しかし、以前からあるルールだから、あるいは施設で決められているからという理由だけでその必要性が認められません。

そこで、一時保護施設の目的や役割、一時保護ガイドラインに示されたこどもの権利擁護や家庭的な生活環境の確保を踏まえ、複数の施設のしおりなどのルールを参考に点検表を作成しました。

この点検表は、全国共通のルールを定めたり、施設の優劣を判断したりするものではありません。各施設のルールや約束事を改めて振り返り、こどもの権利と安全の視点から、職員同士で話し合い、それぞれの施設に合ったルールを考えるためのものです。

2　点検の進め方

①　点検表を使って確認してみましょう

各項目について、一時保護施設で生活するこどもの権利を守るという視点から、そのルールが必要かどうかを選んでください。

- ○：必要（こどもの安全や権利を守るために必要）
- △：見直しの余地がある（工夫や改善ができる）
- ×：必要ない（こどもの権利や自由を不必要に制限している）

② 点検表を確認してみましょう

各職員が項目の確認　→　集計シートにコピペし結果を共有

③ 職員同士で話し合う

なぜその選択をしたのか、また、そのルールを設けている理由や必要性を説明できるかなどについて話し合います。

④ 見直し・改善につなげる

この取り組みを通して、現在のルールの目的や理由を明確にし、不必要な制限は廃止・緩和するなど、施設の実情に合ったルールの見直しや改善につなげます。実用にあたっては、必要に応じてこどもの意見や希望も聞きます。

3　点検後について

点検結果をもとに、全てのルールを一度に変更する必要はありません。まずは、理由が明確でないルールやこどもの自由を必要以上に制限している可能性のあるルールなど、見直しが必要なものから検討してください。

例えば、起床時間、入浴時間、携帯電話の使用、私物の持込みなどは、施設の設備や職員体制、こどもの状況によって適切な対応が異なります。全国一律の正解を求めるのではなく、それぞれの施設が理由や根拠を持って、自分たちのルールを考えることが大切です。

この点検表を通じて、一時保護施設のルールを改めて見直し、こどもの権利や自由を尊重した施設運営に役立てていただければと思います。